

第1回 韓国自治体政策研究セミナー 「韓国におけるデジタル化とスマートシティの推進 について」

ソウル事務所では、日本の地方自治体への情報発信事業として、自治体実務者を対象としたオンラインセミナーを開催することとなりました。韓国の地方自治体における先進的な政策を直接学ぶことができる貴重な機会ですので、是非、ご活用ください。

オンラインセミナー概要

- 1 開催日** 2021年11月11日(木) 13:30~15:00(日本時間)
- 2 開催方法** 「YouTube」でライブ配信(日本語の同時通訳有り)
※アーカイブとして保存するため、後日、当事務所のチャンネルで視聴可
- 3 主催** 一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)
- 4 支援機関** 世界スマートシティ機構(WeGO)
- 5 後援** 大韓民国市道知事協議会(GAOK)
- 6 テーマ** 「韓国におけるデジタル化とスマートシティの推進について」
- 7 プログラム** (予定)
 - (1) 13:30 ~ 開会の挨拶〔クリアソウル事務所〕
 - (2) 13:35 ~ 世界スマートシティ機構(WeGO)による発表
「世界スマートシティ機構(WeGO)の紹介」
 - (3) 13:50 ~ ソウル大学・黄俊哲教授による発表
「スマートキャンパス基盤のスマートシティ推進政策
~ソウル大学と京畿道始興市の事例を中心として~」
 - (4) 14:20 ~ 休憩(大田広域市のPR動画を放映)
 - (5) 14:35 ~ 大田広域市スマートシティ課による発表
「大田広域市におけるスマートシティチャレンジ事業の
推進状況の紹介」
 - (6) 14:55 ~ 閉会の挨拶〔クリアソウル事務所〕

下記リンク先から配付資料(日本語・韓国語)をダウンロードしていただくとともに、当事務所の「YouTube」チャンネルでセミナーをご視聴ください。

http://www.clair.or.kr/information/seminar_open.asp

お問い合わせ

一般財団法人自治体国際化協会ソウル事務所

所長補佐 高村 謙介

TEL +82-(0) 2-733-5681 E-mail info@clair.or.kr

ソウル特別市鍾路区鍾路1教保ビル 17階

17th Floor, Kyobo Bldg, 1, Jong-no, Jong-gu, Seoul, Korea

「韓国におけるデジタル化とスマートシティの推進について」

日本の地方自治体では独自のDX（デジタル・トランスフォーメーション）計画等を策定し、持続可能な都市の実現に取り組む自治体も多いことから、自治体実務者の皆様が関心を寄せる本テーマについて、韓国における先進的な事例を紹介いただきます。

有識者による発表①

13:35 ~

「世界スマートシティ機構 (WeGO) の紹介」

世界スマートシティ機構 (WeGO)
事務総長

パク・ジョンスク

朴正淑氏



世界スマートシティ機構 (WeGO)
ジュニア・プログラム・オフィサー (JPO)

パク・ウンジ

朴恩知氏



【発表内容】

世界スマートシティ機構 (WeGO) は、持続的な都市に変革することを目的として、地方自治体、スマート技術企業、地方研究機関をはじめとする50の団体によって2010年に創設された国際的な都市団体であり、事務局を韓国・ソウル特別市に、地方事務所をアフリカ (ナイジェリア)、東アジア (中国)、ユーラシア (ロシア)、地中海 (トルコ)、ラテンアメリカ (メキシコ) に設置しています。

今回は朴事務総長によるご挨拶のほか、朴 JPO から同機構のビジョンや主要な事業について紹介いただきます。

有識者による発表②

13:50 ~

「スマートキャンパス基盤のスマートシティ推進政策 ~ソウル大学と京畿道始興市の事例を中心として~」

ソウル大学グローバル R&DB センター長
同大学 BK21 スマートシティグローバル融合革新人材養成研究団長

ファン・ジュンソク

黄俊哲氏



【発表内容】

現在、韓国では国土交通部及び国土交通科学技術振興院 (KAIA) の主導によって世宗特別自治市と釜山広域市が国家試験市に指定されているほか、大邱広域市と京畿道始興市がスマートシティ R&D 実証都市に選定されるなど、多くの地方自治体が関係機関と協力しながら、スマートシティの実現に向けて取り組んでいます。今回は京畿道始興市とソウル大学による、大学を中心とした革新的なクラスターの構築や地方自治体のスマートシティプランと連携した共同発展について紹介いただきます。

自治体実務者による発表

14:35 ~

「大田広域市における スマートシティチャレンジ事業の推進状況の紹介」

大田広域市科学産業局スマートシティ課
スマートシティサービスチーム主務官

イ・ヨンミ

李英美氏



【発表内容】

2019年に大田広域市は国土交通部が公募した官民協力型スマートシティチャレンジ事業の第1期都市として選定され、地域企業のソリューションを活用しながら、交通・環境・安全をはじめとする都市問題の解決に取り組んでいます。また、2021年にはスマート都市認証公募で「優秀スマート都市」として実績が評価されており、韓国国内でも積極的にスマートシティの推進に取り組んでいることから、同市の先進的な政策について紹介いただきます。